

実現のために 多様性を尊重しています



工学研究科長・工学部長 長坂 徹也

博士課程を修了したばかりの女性エンジニアが、颯爽と製造現場を仕切っていることなどは、欧米ではごく普通の光景です。そこでは、わざわざスローガンに掲げずとも、男女共同参画は当たり前の前提条件になっています。我が国も1日でもそのようなレベルに到達するよう願っており、微力ですが工学研究科はALiCEの活動を全面的に支援したいと思います。

情報科学研究科長 尾畑 伸明



第4次産業革命が加速し、人工知能 (AI)、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、量子コンピュータなどが高度に融合する世界が目前に迫っています。その世界のキーワードは情報です。伝統的な学問体系を越えて情報を科学し、人間主体の豊かな社会を先導することが情報科学研究科のモットーです。皆さんの若い力、多彩な感性に大いに期待します。



環境科学研究科長 土屋 範芳

私は石を研究しています。石は何もしゃべりませんが、こちらが語りかけると(分析したり、実験したりすると)、いろいろなことをたくさん教えてください。環境の変遷、地球の歴史... やっぱり科学は面白いです。研究は楽しいです。勇気を出して一歩踏み出してみましょう。科学はいつも門戸を開いています。きっと道は開けます。環境科学は皆さんを待っています。

医工学研究科長 永富 良一



社会は一人では成り立ちません。多様性があるからこそ成り立ちます。ひとりひとりが得意なところを生かして、得意でないところを助けあいながら生きていけるのが当たり前の社会になってしかるべきです。未来の医療を工学の力でデザインするためにはさまざまな異なる経験をしてきた皆さんの「気づき」が不可欠です。医工学研究科はALiCEの活動を全面的にサポートします。

「聴いてほしい」「訊いてみたい」 そんなときはお知らせください

工学系に進学したいんだけど、女性が少ないと聞いて不安です

自分や配偶者が妊娠・出産するんだけど

私も支援が受けられるの？どんな支援があるの？

育児・介護に関する気がかり、誰かにちょっと言いたい

うちの学科・研究室の女性研究者・女子学生が活躍しました！

保育所やベビーシッターの情報欲しい

男性も育児休暇が取れるの？



ALiCEキャラクター すんだめき
青葉山に生息するずんだ(枝豆)色のためき。お口は工学部の『工』おなかの模様は東北大学のロゴにも使われている『裁』。工学や科学技術に 興味津々ため！

東北大学工学系女性研究者育成支援推進室 Association of Leading Women Researchers in Engineering

〒980-8579
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6
東北大学工学部・工学研究科 総務課総務係内

☎:022-795-5040
✉:eng_alice@grp.tohoku.ac.jp
Web: <http://alice.eng.tohoku.ac.jp/>



ALiCEキャラクター すんだめき
東北大学では男女共同参画推進センター『TUMUG』を中心に、下記の男女共同参画・女性研究者支援事業を行っております。詳細はTUMUGのWebをご覧ください。
<http://tumug.tohoku.ac.jp/>

プログラム名	内容(詳細は募集要項を参照のこと)	対象者
研究支援要員	研究支援要員(技術補佐員・事務補佐員、RA/AA)雇用のために必要な人件費の補助(上限200万円/年、申請内容・必要度を鑑みて支援額を決定)	出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女) 国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員
ベビーシッター利用料等補助	研究・教育に係る業務と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助	育児を行う教員、技術職員、学術研究員、博士学生等(男女)
スタートアップ研究費	初年度に最大100万円/年の研究費を支援	新規採用の女性教員(助教以上)
ネクストステップ研究費	他に外部資金を得ていない新規の研究課題の遂行や、情報収集・研究成果の公開に必要な研究費*の支援(上限40万円/年) ※出張旅費・参加登録費、備品・消耗品、諸謝金、英文校閲等の雑務費など、研究の遂行・研究成果の公開に直接必要な経費	女性教員(准教授、講師、助教、助手)
東北大学サイエンス・エンジェル	高校等への出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント等の企画・実施	自然科学系部局に所属する大学院女子学生
仙台ソシタクラブ 東北大学大学院女子学生のための国際学会発表渡航支援事業	海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援(上限15万円)	大学院女子学生
川内けやき保育園	学内保育施設	教職員(准職員等含む)、学生等
青葉山みどり保育園	学内保育施設	教職員(准職員等含む)、学生等
星の子保育園	学内保育施設	星陵地区教職員(准職員等含む)、学生等
星の子ルーム	学内軽症病児・病後児保育室	教職員(准職員等含む)学生等

東北大学工学系 女性研究者 育成支援推進室

Association of Leading Women Researchers in Engineering



東北大学工学系とは、東北大学大学院工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科、災害科学国際研究所、未来科学技術共同センター、環境保全センター及び国際集積エレクトロニクス研究開発センターの総称です

東北大学工学系では 真に豊かな社会の

皆さんは、工学をどのような学問だと考えますか？

工学は、より良い社会をつくるための縁の下の力持ちの学問だと私は考えています。また、社会は常に変化しています。この変化していく社会の中で、常に「こんな世界なら良いなあ」という夢や希望を持って過ごすことが大事です。この夢や希望を持つことが、より良い社会の実現につながり、工学はその夢や希望をかなえることを助けてくれます。

さらに真に豊かな社会の実現のためには、皆さんそれぞれの視点が大事であり、多様性を尊重することが重要です。

東北大学工学系女性研究者育成支援推進室 (ALiCE) では、女性が工学分野で安心してキャリアを継続できる社会の実現を目指して活動しています。

東北大学工学系で、共に学び、共に成長し、共に活躍することを期待しております。



ALiCE 室長
田中 真美
医工学研究科/工学研究科 教授

平成 28 年度 女性のチャレンジ支援賞(内閣府)を受賞

学内にとどまらない工学系女性研究者の研究環境整備として評価



※ 女性のチャレンジ賞・女性のチャレンジ支援賞
各種活動にチャレンジして活躍する女性や、それを支援する団体・グループを顕彰することで女性のチャレンジの身近なモデルを示し、男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、内閣府男女共同参画局が実施している表彰(平成 16 年度～)。

- 1 女子学生・女性研究者の育成および支援
- 2 工学分野における男女共同参画意識の醸成
- 3 キャリア継続への意識を高めるグランドデザイン策定

活動 / Activities

目的 / Purpose

**工学って
むずかしそう…**

工学は人々の生活・社会と科学技術をつなぎ、よりよい未来をつくるための身近な学問です。工学におけるさまざまな場面で、多様な視点が求められています。

**女性が
少ないんじゃない？**

工学系に在籍する女性研究者・女子学生は900名以上！工学系の学生全体における女子学生の割合は13%を超え女子学生比率は年々上昇しています。
(令和元年5月1日現在)

卒業・修了した後は？

工学部を卒業した女子学生のうち、81%が大学院へ進学し、14%が就職します。博士前期課程修了後は73%の女子学生が就職し、19%が博士後期課程へ進学します。
(平成30年度進路状況調べ)

**実験で夜遅くなったら？
着替えや静養の場所は？**

青葉山キャンパスには仙台市営地下鉄の「青葉山駅」があります。キャンパス内を循環する連絡バスも夜まで運行しています。また工学系のほぼすべての部に、女性静養室が設置されています。

**家庭と研究、
どちらも大事に！**

研究と育児の両立を目的としたベビーシッターや託児室の利用料等の補助や、事務補佐員の派遣といった支援を行っています。一時託児に利用可能なスペースもあります。

**世界で活躍できる
女性研究者になる！**

工学系の女性研究者のスキルアップを目的として、学会参加や共同研究打ち合わせのための国内外への出張経費の一部を助成する、STEP-ALICEプログラムを実施しています。

**女性研究者支援、
私には関係ない？**

そんなことはありません！学会・シンポジウムにおける一時託児の実施支援や、女子学生・女性研究者に関する相談を受け付けております。

科学体験プログラム

科学の知識を深め、身近に感じてもらえるよう、小中学生向け科学体験プログラムを開催しています。



**女子学生のための
ミニフォーラム**

オープンキャンパスにて女性教員と企業で活躍する女性卒業生、現役の女子大学院生が講演を行うミニフォーラムを毎年実施しています。



**女性研究者や
育児期の研究者の紹介**

ALicEのWebやSNS(Twitter, Facebook), ALicE Newsletterにおいて、工学系の女性研究者の紹介を行っています。また、全国的女子高等学校にて出張講義を行っています。

Women with Sparkle!



ALicE Web: 女性研究者インタビューページ

**女性教員の
積極採用への取り組み**

女性教員の積極的な採用促進と上位職への登用に取り組んでいます。また、新規採用者支援として、研究室や託児室、女性静養室などの環境整備を行い、女性教員が安心して研究できるよう取り組んでいます。

新規採用女性教員のための居室



情報提供・情報共有

情報提供・交換を目的として、工学系の女子学生・女性研究者メーリングリストを運用しています。

例えば…

- 研究費や海外渡航旅費の公募情報
- 保育所やベビーシッターなどの情報
- 学内外のイベント・シンポジウム情報
- 各種支援制度について詳しい説明

…といった内容のメールを配信しています。

託児室・静養室

研究教育・就学のために必要な一時保育に利用可能なスペースと、体調不良時や着替え、搾乳などの際に利用可能な静養室が整備されています。

女性静養室



**工学系ベビーシッター
利用料等補助**

工学系研究者(男女問わず)を対象として、育児と研究の両立のために必要なベビーシッター・一時託児等の利用料を補助しています。

利用者声

子育て期間中でも積極的に学会や研修といったイベントに参加しやすくなりました。その結果、自分の研究成果を発信するだけでなく他の研究者と切磋琢磨する機会が得られました。

一時託児室「すんだぬきっすーむ」
託児室は学会一時保育の場としても利用可能です

研究支援要員派遣

育児期の教員や、社会貢献を行う女性教員に対して、研究とそれらの活動との両立をサポートする支援要員(事務補佐員)を派遣しています。

利用者声

子供を持つ女性研究者にとって研究時間確保はとても重要です。事務補佐員さんに用務の一部を負担して頂き、研究へ取り組める時間を増加させて頂いたことは本当に助かりました。

自分の心の中では「いい研究者になりたい母」と、「いい母になりたい研究者」が、いつも戦っています。この制度は、心の支援の効果もあると思います。

支援制度があることで、子育て中の就業の大変さが可視化され、堂々と仕事できるようになっている面は大きいと思います。

STEP-ALICEプログラム

工学系の女性教員に対して、学会参加や研究打ち合わせ、セミナー聴講といった研究に係る出張経費の一部を助成しています(国内・海外)。

利用者声

本プログラムのおかげで、研究指導をしている学生の初めての学会発表に同行・アドバイスすることができました。現在妊娠中出張は大変ですが、学会に参加するたびにその意義を実感し、得られるもの多さに気持ちが高揚します。

セミナー・交流会

工学系に所属する女性研究者・女子学生を対象に、交流やスキルアップ・キャリア育成を目的としたセミナー・交流会を開催しています。

参加者の声

結婚や出産・育児など、女性としての人生の分岐点において将来考えるであろうことを直接経験者から聞くことができて良かった。

先輩方の話を聞いてあまり心配し過ぎず、自分が今やりたいことも一生懸命やった方がいいと思えて、将来に対する不安が和らいだ。

**女子中高生のための
研究室見学会**

実際に研究室を見て・聴いて・体験するイベントを開催しています。



参加者の声

- 理系という女子は過ごしやすいイメージがありました。あまり重く考えなくていいのかなと思えました(高校生)
- 女子学生に優しい大学という印象が確かなものになりました(高校生保護者)
- 娘が今後どんな方向に進むのかな…と気になっていましたが、道は開かれるのだな！と安心しました(在校生保護者)

ALicEによる出張講義



研究風景



おはなし窓口

女子学生・女性研究者に関する相談や問い合わせをメールや電話、対面にて受け付けています。

他にも…

工学部・工学研究科には、各系(学科)ごとに修学上の相談に応じる「学生支援室」、こころの悩みを中心に臨床心理士が相談に応じる「カウンセリングルーム」があります。また、大学には「ハラスメント相談窓口」、「男女共同参画相談窓口」も設けられています。

託児室に関するお問い合わせ・利用申込は工学研究科総務課総務係へ
☎ 022-795-5040
✉ takuji-aoba@grp.tohoku.ac.jp

ベビーシッター利用料等補助の申請時期は、9月下旬と2月下旬の年2回。後払い申請になりました。様式はALicEホームページよりダウンロード可能です。

STEP-ALICEプログラムの申請時期は、5月と10月の年2回。様式はホームページよりダウンロード可能です。
http://alice.eng.tohoku.ac.jp/

科学体験プログラムやミニフォーラムの開催情報は、ALicEのWebにおいて随時お知らせしております。
http://alice.eng.tohoku.ac.jp/

メーリングリストへの参加希望や相談・問い合わせは下記「おはなし窓口」へ
☎ 022-795-5040
✉ alice_ohanashi@mt.hokue.ac.jp

託児室に関するお問い合わせ・利用申込は工学研究科総務課総務係へ
☎ 022-795-4619/5040
✉ takuji-aoba@grp.tohoku.ac.jp

ベビーシッター利用料等補助の申請時期は、9月下旬と2月下旬の年2回。後払い申請になりました。様式はALicEホームページよりダウンロード可能です。

STEP-ALICEプログラムの申請時期は、5月と10月の年2回。様式はホームページよりダウンロード可能です。
http://alice.eng.tohoku.ac.jp/